

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が10,347例あり、本年の累積報告数は39,009例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- 梅毒の報告が1例(20歳代男性)あり、感染経路は性的接触、感染地域は国内でした。本年の累積報告数は9例になりました。
- インフルエンザは、市内69の定点医療機関からの報告は1例のみでした。今シーズンの累積報告数はわずか4例です。全国でも報告数は極めて少なく(今週は定点医療機関数約5,000から37例の報告)、現在のところ流行の兆候はありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
○京都市のインフルエンザの発生状況(衛生環境研究所)
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>
- 小児科定点把握感染症の推移は、前週までと大きな変化はありません。第3週まで増加傾向だった感染性胃腸炎も第4週以降は大きく減少しています。その他の感染症も本市で流行の兆候の見られるものはありません。

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2.49(107例)で先週の3.12(134例)から減少しました。全国でも先週の5.74から4.55に減少しました。京都市、全国のいずれも第3週から3週連続の減少で、過去5年平均値を下回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 2例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 24例(肺結核 7例, その他結核 12例, 潜在性結核感染者 5例)うち喀痰塗抹陽性 1例】
- 新型コロナウイルス感染症 10,347例【1月以降の累積報告数39,009例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 9例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

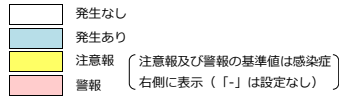
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.49	107
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.14	6
	③ 咽頭結膜熱	0.07	3
	③ 突発性発しん	0.07	3
	⑤ RSウイルス感染症	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

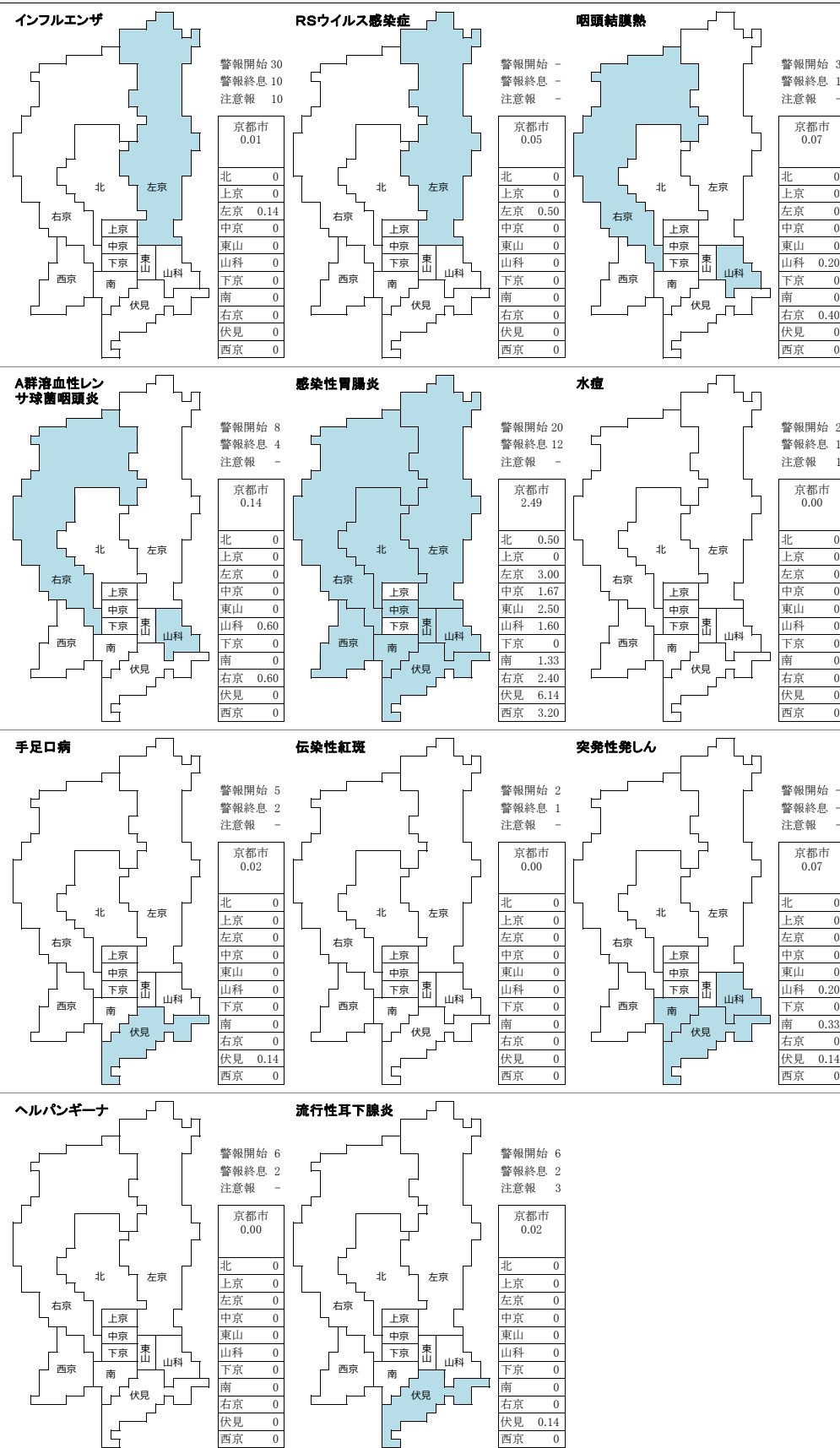
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、2022年2月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第6週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第6週

疾病,行政区別報告数

2022年2月7日～2022年2月13日

データ入手日:2022年2月16日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	1	2	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	1	3	8	-	-	-	1	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-					
右京	-	-	2	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	-	43	-	1	-	1	-	1	-	-					
西京	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	1	2	3	6	107	-	1	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計																		
北	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	0.14	0.50	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	0.20	0.60	1.60	-	-	-	0.20	-	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	-	1.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-					
右京	-	-	0.40	0.60	2.40	-	-	-	-	-	-	-	-					
伏見	-	-	-	-	6.14	-	0.14	-	0.14	-	0.14	-	-					
西京	-	-	-	-	3.20	-	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	0.01	0.05	0.07	0.14	2.49	-	0.02	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第6週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年2月7日～2022年2月13日

データ入手日:2022年2月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		3	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		107	-	2	18	16	16	5	8	4	2	7	4	7	2	16	-	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		3	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.14	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.07	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.49	-	0.05	0.42	0.37	0.37	0.12	0.19	0.09	0.05	0.16	0.09	0.16	0.05	0.37	-	-	-	-	-	-
水痘		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.07	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第6週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年2月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	1
RSウイルス感染症	2	2	3	6	1	2
咽頭結膜熱	10	9	8	3	2	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	14	11	7	7	6
感染性胃腸炎	206	306	354	266	134	107
水痘	2	4	1	2	1	-
手足口病	6	12	10	9	2	1
伝染性紅斑	-	-	1	-	-	-
突発性発しん	7	8	5	5	4	3
ヘルパンギーナ	1	1	-	1	-	-
流行性耳下腺炎	-	1	-	1	-	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	1	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	249	357	394	300	151	124

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	-	-	-	-	-	0.01
RSウイルス感染症	0.05	0.05	0.07	0.14	0.02	0.05
咽頭結膜熱	0.23	0.21	0.19	0.07	0.05	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	0.33	0.26	0.16	0.16	0.14
感染性胃腸炎	4.79	7.12	8.23	6.19	3.12	2.49
水痘	0.05	0.09	0.02	0.05	0.02	-
手足口病	0.14	0.28	0.23	0.21	0.05	0.02
伝染性紅斑	-	-	0.02	-	-	-
突発性発しん	0.16	0.19	0.12	0.12	0.09	0.07
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	-	0.02	-	-
流行性耳下腺炎	-	0.02	-	0.02	-	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	-	0.10	-	-	-
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	5.94	8.30	9.24	6.98	3.51	2.87

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。